

(株) 第一興商 第39回番組審議会議事録

○日 時 2025年3月14日(金) 15:00~16:30

○場 所 (株)第一興商本社 3F会議室

○第一興商報告

◇2024年度 第一興商トピックス

◇スターデジオトピックス

○審議課題

◇スターデジオ『Ch.450 洋楽アップビートセレクション』

◇スターデジオ『Ch.411 J-POP オールタイムベスト』

- ・番組説明(放送楽曲、ターゲットや編成意図について)
- ・番組審議

番組審議会委員・出席一覧(敬称略)

《出席者》

弦 哲也	作曲家 日本作曲家協会会長(審議会委員長)
音 好宏	上智大学教授
湯川 れい子	作詞家/音楽評論家
ボブ 佐久間	作曲家/編曲家/指揮者
伊藤 薫	作詞家/作曲家
渡辺 俊幸	作曲家/編曲家/音楽プロデューサー 日本作編曲家協会副理事長

(株)第一興商・出席者一覧

保志 忠郊	代表取締役社長
渡邊 泰人	専務執行役員 エンターテインメント事業本部長
大山 健	エンターテインメント事業本部副本部長
八巻 任	BGMメディア推進部 部長
吉倉 聡	BGMメディア推進部 放送制作課 課長
番組審議会事務局	佐藤、國尾、宮本、小松、磯部

1. 第一興商報告

◇2024年度 第一興商トピックス

- ・DAMの新フラッグシップモデル「LIVE DAM WAO!」について 他

◇スターデジオトピックス

- ・SDAirチャンネル 利用ランキングTOP20、新チャンネル利用状況
- ・Webサイトリニューアル

2. 番組審議

<番組説明>

□スターデジオ『Ch. 450 洋楽アップビートセレクション』について

【コンセプト】

アップテンポでエネルギッシュな最先端洋楽ヒット曲集。

トレンド楽曲を中心に、アクティブ・ビート&キャッチーなメロディーの組み合わせをコンセプトに選曲。

番組構成 : 4時間番組 (毎週更新)、オムニバス形式

構成楽曲 : US、UK、K-POP など

視聴ターゲット : ガールズバー、キャバクラ、フィットネスなどの各種店舗・施設

期待する効果 : ノリの良いヒット曲のパワープレイでお店や施設を賑やかに演出。

接客の伴うお店においては、お客様と従業員様とのコミュニケーションを、フィットネスにおいては、トレーニングを楽しんで続けていただける環境づくりをサポート。

○局側説明 :

アップテンポでエネルギッシュな最先端の洋楽ヒット曲集で、アメリカ、ヨーロッパ、昨今ブームの K-POP を含め、日本でヒットしているトレンド楽曲を中心に編成。ガールズバー、キャバクラ、フィットネスなどの施設を視聴ターゲットとしており、ノリの良いヒット曲のパワープレイでお店や施設を賑やかに演出。

ご意見を伺いたい。

◎審議委員 :

洋楽は近年若い方があまり聴いていただけない中、Lady Gaga や Britney Spears など、声がポピュラーなアーティストであれば、初めて聴いた楽曲でもノレるという事を考えて選曲されているように思う。EMINEM feat. Ed Sheeran、Kygo, Avicii & Sandro Cavazza / Forever Yours も聴きやすくとても素晴らしい楽曲で、Wiz Khalifa , Ty Dolla Sigh , Lil Yachty & Sueco The Child も日本ではあまり選曲されないが世界的にファンは多く、とても魅力的な曲が多く入っていた。洋楽ファンには嬉しい選曲ではないだろうか。感心しながら楽しく聴かせていただいた。

◎審議委員 :

Ed Sheeran の後、ふと EVERGLOW / Sam Fischer で緩めて、途中ハードになる楽曲になるのかなと思いつつ、穏やかなまま終了していく。大変よく考えて選曲され、まるでここにいるような臨場感を感じた。非常に流れも良く、気持ちのよい選曲である。

ワクワクドキドキするし、とても良いチャンネルだと思う。

◎審議委員：

全体の曲選びは魅力的だと思う。ビートあり、少し暗めな楽曲もあり、逆に言うならムードがあって、ガールズバー、キャバクラにはぴったりかもしれない。

もう一つのチャンネルターゲットであるフィットネスには、ややビートが遅すぎる。

元気になりたいと思って通われているので、気持ちが前向きになる音楽を網羅している方がやる気が出ると思う。3施設を一まとめに考えること自体が難しく、可能であればフィットネスは切り離して125～130BPMで選曲されるとよい。

◎審議委員：

洋楽アップビートセレクションは平均115BPMあたりかと思うが、洋楽を全く分からない私でも、音楽・リズム・ビートに合わせて自然に体が動き、気分が高揚するような実感があつた。コンセプトに非常にぴったりのセレクションだと思う。

“さあもう一杯飲もう”という気分になり、お店の売り上げが向上し、会話も盛り上がるのではないかな。

◎審議委員：

様々な業態に対して、こういう時はこのチャンネルが良いですよという、生活シーンに合わせたPRをガイダンスできれば、新たな空間改革になると思う。

□スターデジオ『Ch. 411 J-POP オールタイムベスト』について

<番組説明>

【コンセプト】

1980年代から現在まで、歴代のヒットチャートを賑わせた邦楽ヒット・ナンバー集。心地よい空間の提供、カラオケ歌唱度数アップをコンセプトに選曲。

番組構成 : 6時間番組(毎週更新)、シャッフル形式

構成楽曲 : J-POP(ヒットチャートより)

視聴ターゲット : スナック、カラオケ喫茶などのカラオケ導入店、居酒屋など

期待する効果 : 幅広い世代のお客様が集う店舗を、幅広い年代のヒット曲で空間演出。

カラオケ店においては、歌唱意欲、歌唱度数向上に貢献。

居酒屋など飲食店においては、食事と会話を楽しんでもらえる環境づくりをサポート。

○局側説明：

1980年代から現在まで、歴代のヒットチャートを賑わせた邦楽ヒットナンバー集。

スナック、カラオケ喫茶などのカラオケ導入店では、歌唱意欲、歌唱度数の向上を、飲食店では食事と会話を楽しんで頂ける環境づくり、お客様の滞在時間を伸ばし飲食のオーダーが増すことを目指している。

昭和、平成、令和のヒット曲の数々を届けることで、会話のネタが広がり、カラオケに行きたくなるような魅力あるチャンネルに育て進めていきたい。

ご意見を伺いたい。

◎審議委員：

約45年前の曲から本年までのヒット曲を、ランダムに6時間分選曲されていたら、誰が聴いても楽しいだろうと思う。45年の間に青春だった方、60年代になっている方々も、カラオケやスナックなど色々なところでお聴きになるには、非常に良いチャンネルだと思いながら聴かせていただいた。

◎審議委員：

居酒屋で飲んでいて、店内から流れてくるヒット曲に手が止まることがある。

思い出と歌は直結していて、好きな楽曲のイントロが流れてくると、“あの時代だな”と感じる瞬間があり、もう少しお店に居たくなってしまふものだ。このような楽曲が多く選曲されていることは、非常にありがたい。店舗で流れていたら、楽しいし居心地が良いだろう。年代に偏りが出ないようヒット曲をあえて散らしている意図も感じ、他のヒット曲も聴きたいと思わせてくれる。飲み屋の帰りにカラオケに寄っていくだろうなど容易に想像できる、非常に魅力的なチャンネルである。

◎審議委員：

とても魅力的で素晴らしいチャンネルだと思う。過去からの名曲が網羅され、YOASOBIの“アイドル”のような最新の楽曲が入ってきても、過去の名曲との違和感を感じない。

80年代からの選曲は難しいと思うが、“この曲知らないけど、なんか良い曲だな”と名曲の掘り起こしを意識して選曲されると、幅広い年代層に響いてくるだろう。老若男女にご納得いただける選曲が、お店で流れる用途としても重要である。

若い方の意見を取り入れながら選び抜いていただけると、更に素晴らしいチャンネルになるのではないだろうか。

◎審議委員：

最近、子供が自分の部屋で好きな音楽を聴くことが多く、家族で一つの音楽を楽しむ時代が遠い昔になってしまった。このチャンネルは、その時代のチャートを賑わせた楽曲ば

かりで、50～60代、10～20代と、親子と一緒に聴きながら“これは私にまかせて、昔はこの曲よく歌ったんだよ”といった会話が聞こえてくるようだ。

20～30年経った名曲と、現在のヒット曲を並べてみても、違和感のない作品力を感じることができるチャンネルだ。歌づくりの人間の一人として、これからも良い作品を作り続けていきたい。

◎審議委員：

昭和・平成・令和のヒット曲が網羅されている、つつい口ずさみたくなるチャンネル。ターゲットが50代であれば、その層を厚めにし、10代を引き込もうとするのであれば、その年代を厚めにするなど、6時間の組み合わせを少しトライアルすることで、様々なデータ結果を得ることができ、より質の良い選曲が期待できる。カラオケに行きたくなる一つのキッカケ作りになるのではないかな。

◎局側回答

今回の会がチャンネル作りに大いに役立つものであると再認識した。その番組作りの一環として、しっかりBGM放送を行っていきたい。カラオケ事業においても、良い音で「やっぱりDAMだね」と言っていただき、歌っていただけるよう努めたい。